



子ども・子育て会議だより



智頭町教育委員会事務局 平成28年8月

「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月にスタートし、1年が経過したことに伴い、平成28年度子ども・子育て会議を開催し、「智頭町子ども・子育て支援事業計画」の現在の進捗状況の報告、点検等を行いました。

智頭町では、子ども・子育て支援法に基づき、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進していくため、平成27年3月に「智頭町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

○ 新子ども・子育て委員紹介

15人の委員と3人の教育委員会事務局で構成します。

子どもの保護者代表	・西尾文伴 ・小宮山大育 ・國岡厚志 ・西村早栄子 ・奥村奈美子	諏訪保育園保護者会長 あたご保育園保護者会長 智頭小学校PTA会長 森のようちえん代表 ほほえみママサークル代表
子どもの支援に関し 学識経験のある者	・小宮山富美子 ・谷口辰夫 ・山崎理恵	主任児童委員 智頭町公民館連絡協議会長 心の教室相談員
子どもの教育、保育又は 養育に関する事業 に従事する者	・岡村篤朋 ・岸本淳子 ・米井ますみ ・平木恵子 ・岸本ちえみ ・松村典子	教育委員会指導主事 諏訪保育園長 あたご保育園長 子育て支援センター所長補佐 養育支援家庭訪問員 福祉課保健師
事業主を代表する者	・林良久	智頭町経営者協議会代表
事務局	・西沖和己 ・奥村美佳 ・尾坂智美	教育課長 主幹 主事

○ 会長、職務代理者の選出

教育長から委員のみなさんに委嘱状が手渡された後、会長に小宮山富美子委員、職務代理者には山崎理恵委員が引き続き選出されました。

○ 教育長あいさつ（要約）

本町の近年の出生数をみると、年間37～38人で推移しているが、目標を50人とし、子育て支援による若年層の確保や、少子化対策等の子育て支援事業に力を入れている。ハード面では、新保育園の整備に着手し、ソフト面では、平成27年度に保育料の見直しを行い、本年度から第2子以降保育料無料化や、低所得者に対しては第1子からの軽減を行い、保護者の負担軽減による子育て支援を進めている。

また、鳥取県の保育園入所率に比べ、智頭町は0歳からの入所率が高いという現状があり、子どもは家庭で育てることが望ましいと思っている。このようなことも踏まえ、今後の子育て支援事業について、会議の中で議論していただきたい。

【協議内容】

1)「智頭町子ども・子育て支援事業計画」進捗状況について

基本理念と基本目標に沿って事務局より説明

○めざす姿

①子どもの健やかな育ちを保障する

	事業計画	推進施策	進捗状況	H31年度目標
1	就学前教育・ 保育の充実	智頭町保育園一園化の早期実現	整備工事 開始	0歳～5歳児までの連続した保育の実施及び充実
		教育・保育の質の向上	○	保育士の資質向上及び 発達保障の充実
		森のようちえん事業の支援	○	継続実施
		認定こども園の普及	検討中	ニーズ把握、検討
2	地域における 子育て支援サービス の充実	地域子育て支援センター事業の推進	○	拡充に向けた検討
		ファミリー・サポート・センター事業の推進	○	支援会員を増やし、支援 内容の充実
		乳児家庭全戸訪問事業の推進	○	継続実施
		ブックスタート事業の推進	○	継続実施
3	要保護児童 への対応な どきめ細かな 取組の推進	児童虐待防止対策の充実	○	連携強化
		ひとり親家庭への自立支援の推進	○	継続実施
		障害児施策の充実	○	継続実施
		養育支援訪問事業	○	継続実施
		子育て短期支援事業	○	継続実施、啓発強化。
4	子どもの人 権の尊重	人権・同和保育の推進	○	継続実施

② 親と子の心身の健康を守るために

	事業計画	推進施策	進捗状況	H31年度目標
1	親と子の健康の支援	妊産婦保健相談等	○	継続実施
		乳幼児健診	○	継続実施
		乳幼児保健相談	○	継続実施
		子育て講座	○	継続実施
		小児医療の充実	○	継続実施
		各種予防接種	○	継続実施
		虫歯予防フッ化物洗口事業	H27年度新規	継続実施
		2	「食育」の推進	離乳食講習会
食育推進事業	○			継続実施
食物アレルギー対策の推進	○			継続実施
3	思春期保健対策の充実			心身の健全な意識の育成
		学校生活適応支援員の設置	○	継続実施
		心の教室相談員の設置	○	継続実施
		スクールカウンセラーの配置	○	継続実施
		子どもを取り巻く有害環境対策の推進	○	継続実施

③ 子育て家庭を支援するために

	事業計画	推進施策	進捗状況	H31年度目標
1	保育サービスの充実	乳児保育	○	ニーズ把握、継続実施
		延長保育	○	ニーズ把握、継続実施
		一時預かり事業	○	ニーズ把握、継続実施
		障がい児保育	○	ニーズ把握、継続実施
		土曜午後保育	○	ニーズ把握、継続実施
		病児・病後児保育	○	ニーズ把握、継続実施
		第3子以降保育料無料	H27年度完全無償化	継続実施
		第2子以降保育料軽減	H28年度完全無償化	継続実施
2	情報提供・相談体制の充実	子育ての情報提供・相談体制	○	継続実施

3	教育環境の整備	小中学校図書館・保育園図書室の充実	○	継続実施
		総合的学習の時間の推進・ボランティア体験活動・職場体験活動	○	継続実施
		国際交流事業	○	継続実施
		地域ボランティア	○	継続実施、地区公民館の機能強化
		特別支援教育総合推進事業	○	継続実施
		家庭教育支援チームの設置	○	継続実施
		4	家庭や地域の教育力の向上	すくすくすぎっ子の活用・啓発
ノーテレビデーの推進	○			継続実施
5	子育てしやすい就労環境の整備	ワーク・ライフ・バランスの啓発	○	継続実施
		地域型保育事業の推進	○	継続実施

④ 地域ぐるみで子育てするために

	事業計画	推進施策	進捗状況	H31年度目標
1	児童の健全育成	放課後児童クラブの充実	○	施設整備、環境の充実
		児童館活動の充実	○	継続実施
		公民館事業の充実	○	継続実施
		スポーツ振興と環境整備	○	継続実施
2	安全・安心なまちづくりの推進	子ども110番	○	継続実施
		交通安全街頭指導	○	継続実施
		青少年育成事業	○	継続実施
		あいさつ運動	○	継続実施
		3	環境・自然を大切にするまちづくり	木育推進事業
ウッドスタート事業	H27年度新規			継続実施予定
児童公園・親水公園の整備	○			継続実施
親水公園連絡協議会の事業	○			継続実施
環境美化への積極的参加の推進	○			継続実施

2)新規事業について

事業名	事業概要	新規/拡充	H31年度目標
智頭町総合戦略事業「育みの郷」構想事業『いのちね』	妊娠、出産、子育て、思春期、更年期等、女性特有の不安・悩みなどの相談。	H28. 新規	産院開設
妊婦歯科健康診査	ホルモンバランスや唾液の変化、食生活の変化、つわり等が影響し、むし歯や歯周病にかかりやすくなる妊娠期にむし歯や歯周病の予防を行う。	H28. 新規	継続実施
新生児聴覚検査の費用助成	早期に適切な支援を行う必要がある聴覚の状態を確認するための検査を受けやすくするため、費用助成を行う。	H28. 新規	継続実施
「おせっかいのまちづくり」宣言	町民が肩を寄せ合い、共に支え合いながら地域の人々が心も暮らしも豊かに智頭らしく生きていくまちづくりを目指す。押しつけにならないよう気をつけながら、少しのおせっかいを始めることで、「安全・安心な住みやすいまち」をつくることを目的とする。	H27. 新規	継続実施
智頭町トップアスリート育成支援事業	智頭町の代表として県外のスポーツ大会に出場する子どもたちの活動を支援することで、町全体のスポーツ振興及び人材育成に寄与することを目的に交付。	H27. 新規	継続実施
智頭町学習支援事業	生活困窮状態にあるなど、生活課題があり支援を必要とする家庭に育つ小・中学生に対し学習支援を行う。	H28. 新規	継続実施

*「育みの郷」構想事業については、平成28年5月に『いのちね』をほのぼのの内に開設し、女性の悩み・子育ての不安などの相談やヨガ教室など行っている。今後の目標は、産院開設である。

*妊婦歯科健康診査については、本年度から実施している事業であるため、継続実施し、成果等報告する。

*智頭町トップアスリート育成支援事業については、平成27年度は、水泳2名、水球2名、バドミントン1名、空手1名、サッカー1名の5競技7名に交付した。継続実施をし、今後の活躍に期待する。

3)新保育園建設の現状と今後の計画について

保育園の老朽化、低年齢児の入園増加など子育て支援をするうえで、施設改善の必要性に迫られていた。昨年度、用地を上市場地内に決定し、保育園整備に着手した。

新保育園については、木造平屋建て、床面積は約1,900㎡、敷地面積は9,000㎡を確保し、花壇や菜園を配置するなど食育体験を重視した環境を整え、智頭町ならではの施設ということで、智頭杉をふんだんに使った造りとしている。

現在、地盤改良工事を行っており、今後、基礎工事、10月から建築建設工事に取り組み、平成29年3月末に完成となる。

<駐車場について>

駐車場入り口下手側に、バスロータリーを確保し、各方面からのバスの乗降も安全に出来るよう考慮している。鳥取方面のバスも同様。

4)新保育園の名称について

平成28年4月25日(月)～5月31日(火)まで募集した、新保育園の名称について協議を行う。

- ・智頭小学校、智頭中学校、そして、ちづ保育園がいいと思う。
- ・今後、認定こども園になる考えはあるのか。もし移行するようなことがあるなら「○○園」という方がいいと思うが。(事務局より)
- ・保護者のニーズも、保育園というイメージが高い。今のところ、認定こども園の移行はなく、保育園の予定である。
- ・認定こども園の移行も考えるなら、「すぎっこ」「ちづっこ」の方が良いと思う。
- ・「すぎっ子」とよく言うが、智頭らしくかわいらしい「すぎっこ保育園」が良いと思う。名前に込められた願いなど見ても「すぎっこ」が良いと思う。
- ・智頭の子だから、町外の方にもわかりやすい「ちづっこ保育園」が良いと思う。
- ・保育園という言い方よりも「すぎっこ園」とすると、保育園だけにとらわれず良いと思う。
- ・智頭と言えば「杉」。「杉」を入れた名前がいい。などの意見が出た。

この意見を持ち帰り、再協議して決定する。

*新保育園の名称決定

平成28年8月26日開催の定例教育委員会で再協議を行い、「ちづ」と「すぎっこ」に意見が絞られ、投票により最終的に、『智頭町立ちづ保育園』に決定しました。

